

平成19年度 第3回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成19年11月9日（金） 午後2時00分～午後3時35分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 21名

欠席委員数 8名

事務局 9名

傍聴人 1名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題（1）地区部会活動報告書について
 - （2）地域福祉パイロット事業の報告について
 - （3）地域福祉活動の情報交換について
 - （4）千葉市地域福祉活動事例集（仮称）について
 - （5）その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数29名のうち、21名出席、8名欠席を確認し開会した。

事務局司会の下、配布資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

議題（1）

地区部会活動報告書について

18年度実施されたパイロット事業の活動報告書の中から中央区1件、稲毛区1件、若葉区1件の合計3件について事務局から事業紹介した。

中央区 東千葉地区部会 助け合い支援「ちょっとボランティア」事業

この事業は、地域内の高齢者や子育て中の親を対象に日用品の買い物やゴミだし、部屋の清掃などを生活するうえでちょっと困ってしまったことを地区部会スタッフが有料でお手伝いするというもので平成18年9月から実施し、現在も継続実施している。

稲毛区 小中台地区部会 地域（小中台）の子育てミニフォーラムの設置事業

この事業は、地域内で子育て支援活動をしている様々な団体、サークル、個人が情報交換を通じて地域の子育てに関す

る理解を広げ活動の連携を図ることを目的としてイベントを開催したものです。

若葉区 加曽利地区部会 福祉ボランティア活動と福祉相談ネットワークづくり

この事業は、地域住民と施設の間に地区部会（自治会）が入り福祉ネットワークの連携を深めていくことを目的にした事業です。加曽利にある千城台クリニック併設の老人福祉施設寿クラブと加曽利町内にある介護老人保健施設秀眉園で実施したものです。

<質疑応答>

委員：東千葉地区部会のボランティアは、どういった方が担っているのか。利用頻度はどのくらいか。よく利用されているサービスはなにか。

事務局：地区部会の福祉活動推進員や地区部会の役員です。月1～2回の利用が多いです。よく利用されているサービスは不明です。

議題（2）

地域福祉パイロット事業の報告について

委員：平成19年度地域福祉パイロット事業、天戸中学校区地区部会「地域福祉活動推進へ理解を広め深める活動」について報告。

<質疑応答>

委員：2つのグループの誕生が見込まれるとは、どのようなグループか。

委員：民生委員の退任された方でグループを作り定期的に集ってもらいアドバイスをもらっている。またいきいきサロンを手伝ってもらっている。また花の栽培を趣味で行っている方に協力してもらい、一人暮らし高齢者に花を渡して話をするきっかけにしている。

委員：民生委員の退任グループは民生委員の本来の活動やよろず相談等をされているのか。

委員：特設活動のテーマはないが、民生委員を退任し、一般市民にもどってはじめて気づくことがいろいろでくる。その貴重な情報を現民生委員に提供してもらっている。

議題（3）

地域福祉活動の情報交換について

事前に各委員から提出してもらった地域福祉活動について説明があった。

委員 三世代ふれあいラジオ体操

高齢者から子どもまで、一同に会し健康増進のためふれあい、体操を

- する目的で夏休みに開催。3箇所の公園で実施。毎日300人以上が集まった。
- 委員長 さつきが丘中学校地区部会
地区部会設立間もないこともあり、まずは広報、周知に力を入れ、各事業でPR活動を実施。年末には餅つき大会も企画している。
- 委員 親子の集い
親子が一緒に楽しめ、ふれあえる事業として、紙とんぼや竹とんぼ作りを実施した。
- 委員 交流スペース はなのわ広場
NPO法人はなまる企画、NPO法人たすけあいこんにちはが共同で設置したフリースペース。ミニデイサービスや子育てサークルを月数回実施している。
- 副委員長 ・介護予防活動（B型機能訓練）
檣橋保健センターの指導を受けて年2回、花島町内会で実施した。
・ふれあい・いきいきサロン事業
千代の台自治会老人クラブと新鷹の台第一自治会で実施し始めた。
・H18年度パイロット事業の継続活動
地区部会から助成金を出し、H18年度実施したパイロット事業を継続実施している。
・特別養護老人ホームの慰問活動
7～8人のボランティアグループで晴山苑や一輪荘に2ヶ月に1回訪問し、歌と踊りで交流を図っている。
- 委員 きさくな御用聞き
電球の交換や庭木の手入れ、清掃などを有料で実施している。
- <質疑応答>
- 委員 : 地区部会は、こういった財源で活動しているのか。
- 副委員長 : 住民会員特別会員賛助会員を募り、一旦市社協に収め、翌年度その金額の70%が活動費として補助されている。
- 委員 : 平均すると各地区部会の活動費はどのくらいのなのか。
- 事務局 : 区全体にすると1世帯約100円の会費額が集まっている。各地区部会50万円から100万円の会費額が集まっている。
- 委員 : 特別養護老人ホームの慰問は役員が行っているのか。今後も継続していくのか。
- 副委員長 : 役員とは別のボランティアグループを立ち上げて行っている。70歳代が多いので、若返りを図り、継続したい。地区部会からは1万円を補助し、弁当代や小道具代として利用している。
- 委員長 : きさくな御用聞きが地区部会へ問題提起したが、返事がないと説明さ

- れていたが、具体的に伺いたい。
- 委員：5月に地区部会からボランティア募集登録の話があり登録したが、まだ人が集まらないという返事があるだけでそれ以降何もない。
- 委員長：さつきが丘中学校地区部会の事務局に話しておく。
- 委員：きさくな御用聞き的活動場所、会員数を伺いたい。
- 委員：環境ボランティアは花見川沿いで、60名くらいで活動している。福祉活動は10名くらいで活動している。
- 委員：有償活動について伺いたい。また事務所は自宅なのか。
- 委員：最低賃金程度の報酬で活動している。事務所は自宅です。

議題（４）

千葉市地域福祉活動事例集（仮称）について

保健福祉総務課から千葉市地域福祉活動事例集（仮称）の作成状況について報告があった。8月23日に第1回編集会議があった。花見川区推進協からは金子委員が出席している。市全体で25件の活動事例が集まった。花見川区からは4件集まり、その中で、西小中台自治会と鷹の台自治会の活動を掲載する予定。12月下旬に第2回の編集会議、来年2月頃に事例集発行を予定している。

議題（５）

その他

- 委員：パイロット事業の再募集の結果について伺いたい。
- 事務局：稲毛区で1件、美浜区で1件応募があった。稲毛区は、山王地区部会、NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター・障害者団体ぐっぴいの会の連携事業で「心のバリアフリープロジェクト」。美浜区は、高洲高浜地区部会・NPO 法人はなまる企画・みはま子育てフォーラムの連携事業で「子どもの広場 in みはま」です。審査会は、12月5日に行う予定。

最後に片桐委員長から閉会挨拶をし、午後3時35分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。